

「市民による集中評価会議」実施結果について

1 開催目的等

自治基本条例第31条に規定している、『本市の施策が条例の趣旨に沿って整備され、また、運用されているかどうかを市民参加の上で評価する』仕組みづくりに向けた取組の一環として実施した。

条例の施行が平成19年4月であり、19年度は条例に基づいた取り組みの途上で事業の評価を行うこととなるため試行的な位置づけで実施した。

開催日時 平成20年2月23日(土)13:00~17:00
 " 24日(日)9:30~17:00
 開催場所 S T V北2条ビル6階会議室
 参加者数 1日目:24人、2日目:23人
 謝 礼 12,500円/人(両日共に参加した場合のみ)

2 実施手法

参加者の選出方法

住民基本台帳から無作為で選んだ18歳以上(高校生及び市職員を除く)の市民2,000人に参加を呼びかける文書を送付したところ、92の方が承諾され、抽選により30人を委員に選出した。(その後6人が辞退し、1人が2日目を欠席した。)

なお、参加者の性別や年齢層のバランスについては、無作為抽出の段階で札幌市の構成と同じようになるように考慮して抽出し、その後の抽選においても年齢層と性別のバランスを考慮した。

また、抽選は、当課において類似機関として設置していたアドバイザー会議の委員に依頼し、その様子は議事録としてホームページで公開した。

評価対象

条例のポイントである、「情報共有」と「市民参加」に取り組んだ事例を題材に、市民委員に当該取組についての評価をいただいた。

なお、対象とした事例は、局区実施プランに計上している事業のうち、「わかりやすい情報提供」または「市民参加の促進」に位置づけているものの中から、行政評価委員会に意見を伺い、市民自治推進室において選出した。

<評価対象事例>

	名称及び担当部	内容
情報共有	市民が主役 札幌市のまちづくり (市)市民自治推進室	自治基本条例について説明している冊子
	見てわかる!あなたの近くに男女共同参画 (市)男女共同参画室	男女共同参画や人権の普及啓発事業について説明している冊子
	マンガ「さっぽろ雪の絵本」 (建)雪対策室	雪対策事業の制度や内容について説明している冊子
市民参加	区民協議会のあり方等に係るアドバイザー会議 (市)市民自治推進室	市政へ市民意見を反映させる仕組みのあり方等について意見を聴取するため、地域代表や公募委員などで構成する会議を設置した取組
	わたしたちの児童会館づくり (子)子ども育成部	改築する児童会館の設計等に子どもたちの意見を反映させるため、「子ども検討委員会」を設置した取組

会議の進め方

事例ごとに事業担当課より説明を行った後、個人の印象で投票()を行い、それについて、各グループ(1グループ4~5人)内で意見交換をした後に第2回目の投票を行い、最終的にグループとしての意見にまとめ発表を行った。

事例説明

投票
1回目話し
合い投票
2回目まとめ
発表

情報共有は、冊子の内容や情報量、配布方法等について「分かりやすいか否か」、市民参加は、参加しやすさや実施方法、参加者について「適切か否か」について投票

3 評価結果

それぞれの取組ごとの投票結果

(単位:人)

情報共有	市民が主役 札幌市のまちづくり		見てわかる!あなたの近くに男女共同参画		マンガ「さっぽろ雪の絵本」	
	1回目	2回目	1回目	2回目	1回目	2回目
分かりやすい	6	4	16	18	21	20
分かりにくい	17	19	7	5	2	3

市民参加	区民協議会のあり方等に係るアドバイザー会議		わたしたちの児童会館づくり	
	1回目	2回目	1回目	2回目
適切である	6	4	20	22
適切でない	17	19	3	1

改善すべき点として出された意見の一例

情報共有	<ul style="list-style-type: none"> 抽象的な表現が多く、具体例を記載した方が良い(自治) カタカナ用語には説明をつけ、補足説明の文字を大きくする(自治) 情報を得るための問い合わせ先を明記する(男女) 子ども向けの内容と大人向けの内容が混同しており、分けたほうが良い(雪)
市民参加	<ul style="list-style-type: none"> 公募の応募条件が厳しいので緩和した方が良い(自治) 広報さっぽろとHPでの周知だけでは不十分(自治)

継続すべき点として出された意見の一例

情報共有	<ul style="list-style-type: none"> 市民が疑問に思うことが具体的に記載されていて理解しやすい(男女) 物語性のあるマンガで読みやすい(雪) 意見を吸上げるためのハガキがあるのが良い(雪)
市民参加	<ul style="list-style-type: none"> 会議日程(夜間開催、回数等)が参加しやすく配慮されている(自治) 利用する子どもの意見を大幅に取り入れる仕組みを作ったことが良い(子ども)

4 評価結果の活用

評価会議で出された提案を整理したものを結果概要とともに全庁に通知し、各局区における取組促進、改善につなげていくこととする。

5 参加者アンケート結果

参加者アンケートの結果をみると、参加や手法を含め概ね満足であると回答しており、こうした会議の開催は、市民の市政への参加意識を高める役割を果たしているとともに、今後も手法として活用できるものと思われる。一方、具体的な評価方法については多くの課題も見つかっているため、これらを検証し次回につなげていくこととする。

選択肢の設問より

- 会議の参加について、「大変満足」と「満足」を合わせ、全員が満足と回答した。
- 会議の参加で得たものについて、「市政への関心が高まった」や「事業への理解が深まった」との回答が多かった。
- 今後の参加について、「ぜひ参加したい」と「日程が合えば参加したい」を合わせ、全員が次回も参加したいと回答された。

自由記載より

「このような場をもっと増やして欲しい」、「広報誌を見るのが楽しみになった」、「大変参考になった」、「計画段階の事業についての話し合いを望む」、「5つの事例の評価は多すぎた」等

6 20年度の取組

市民の視点で専門家である行政評価委員会とほぼ同内容の評価結果が導き出された点や全員が満足したという参加者アンケート結果から、無作為抽出による参加者選出の手法は有効であると判断されるため、引き続き同様の手法で実施することとする。

なお、評価対象は個別の事例ではなく、「情報共有」、「市民参加」の取組手法について評価していただくことを予定している。